

令和4年度第3回三鷹市地域公共交通活性化協議会議事要旨

1. 日時

令和5年3月22日（水） 午後2時～

2. 場所

元気創造プラザ5階 災害対策本部室

3. 出席者

【委員】出席25名、欠席3名 【事務局】7名 【傍聴者】0名

4. 主な内容

(1) 委嘱状交付（席上配布）

(2) 会長挨拶

(3) 市長挨拶

(4) 議事 協議事項

ア みたかシティバス三鷹台・杏林大学病院ルート of 改善について

(5) 議事 報告事項

ア コミュニティ交通実証運行について

イ 三鷹市交通ネットワーク全体構想研究会 of 報告について

ウ その他

■議事

協議事項 ア みたかシティバス三鷹台・杏林大学病院ルート of 改善について

【事務局】

- ・日中時間帯 of 便を対象に、元気創造プラザまで運行ルートを延長する。バス of 定時性確保のため、混雑する人見街道を避け、東八道路経由 of 運行とする。
- ・延伸に伴い、35～45分間隔 of ダイヤから、朝夕は三鷹台駅～杏林大学病院間で45分間隔、日中は三鷹台駅～元気創造プラザ間で50分間隔 of 運行ダイヤとする。
- ・土休日ダイヤを廃止し、全日で同一 of ダイヤとする。
- ・延伸に伴い、ルート名称を「三鷹台・杏林大学病院ルート」から「三鷹台ルート」に変更する。
- ・令和5年5月16日（火）にルート、ダイヤ変更予定。

【会長発言】

- ・50分間隔のダイヤは覚えにくいのではないかと。

【事務局回答】

- ・今回のダイヤ改正により三鷹台駅発の時刻を10時以降、10分刻みの切りのいい時刻になるようバス事業者に工夫してもらった。

【委員発言（タクシー事業者）】

- ・昨今、タクシー事業者もバス事業者も人材不足が深刻な問題となっている。運行事業者としても、行政にはできるだけ協力するつもりでいるが、運行ルートやダイヤを変更する場合、そのような事情も考慮した上で検討してほしい。
- ・同様に三鷹駅南口交通混雑問題についても、事業者として協力していくので、市長のリーダーシップで解決に向けて検討を進めてほしい。

【委員発言（バス事業者）】

- ・令和6年度より改善基準告示が見直されることに伴い、コミュニティバスの始終発の時刻も見直しをお願いする場合がある。

【市長発言】

- ・三鷹市にとって交通はとても重要であると考えている。同時に課題も多く、運行事業者に協力いただいている部分も多くあるが、少しずつ改善していると考えている。まちづくりにはお金と時間がかかるため、すぐに解決することが難しいが、三鷹市の交通の発展のため、引き続き、市と事業者が一体となって取り組んでいただきたい。

【委員発言】

- ・ルート名称について「三鷹台」とすると行き先がわかりづらいのではないかと。

【事務局発言】

- ・延伸部分の表現がわかりにくいですが、三鷹台駅発着のルートとのことで「三鷹台ルート」とさせていただいた。利用者が行き先の間違いがなく、バス停の表示やバスの行先表示をわかりやすく事業者と調整している。

【委員発言】

- ・元気創造プラザの発着時刻を午前9時30分から午後5時としたのはなぜか。

【事務局回答】

- ・元気創造プラザ内の各施設の開館時間や、スポーツや生涯学習の講座の開催時間等を参考に、利用者の多いコア部分の時間帯を延伸することとした。

【委員発言】

- ・バスの諸変更時のスケジュール感について確認したい。グリーンスローモビリティだとしても変更には一定の時間と手続きが必要なのか。

【事務局回答】

- ・自治体運行の乗り物は本協議会での承認を手始めに、運輸局への申請や警察の検査等、所定の手続きを経て運用されているため、一定程度時間がかかる。

■議事

報告事項 ア コミュニティ交通実証運行について

【事務局】

◇小型EVバス◇

- ・明星学園行き「コミュニティ・センター南」バス停を80メートル、コミセン寄りに移設。
- ・乗車時のステップの高さを約45cmから約30cmに車高を低く変更。
- ・車両定員6名（旅客4名）のところ、座席中央の仕切りを取り払い、車両定員8名（旅客6名）となるよう変更。
- ・令和5年4月3日（月）から変更予定。

◇AIデマンド交通◇

- ・高齢者割引運賃と障がい者割引運賃を導入。

■ 高齢者割引運賃

対象者	70歳以上の高齢者（居住地、所得制限なし）
対象区間	エリア外区間
割引後運賃	200円（100円引き）
運用方法	事前に割引証の発行を受け、運賃支払い時に提示する。割引証の申請受け付けは令和5年3月下旬から開始予定。

申込方法	市役所窓口、郵送、（※4/7～9のみ大沢コミセンにて臨時受付窓口を開設）
------	--------------------------------------

■ 障がい者割引運賃

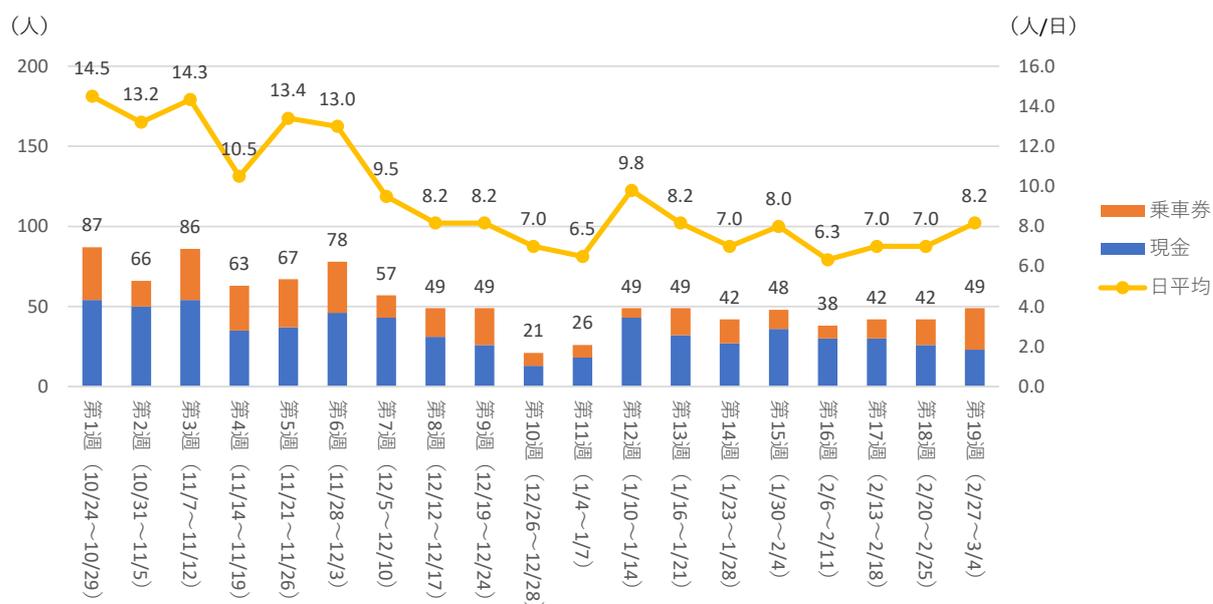
対象者	身体障害者手帳、療育手帳（愛の手帳）、精神障害者保健福祉手帳の所持者およびその介助者
対象区間	エリア外区間
割引後運賃	200円（100円引き）
運用方法	運賃支払い時に各種手帳を提示する。

- ・運行車両1台について、現行の午前8時～午後5時の運行を、午後6時まで延長。コールセンターについても、午後6時までの営業とする。
- ・車両1台について、市役所周辺および大沢地区内でイベントが開催される日や祝日に臨時運行する。コールセンターについても、臨時に開設する。
- ・令和5年4月3日（月）から変更予定。

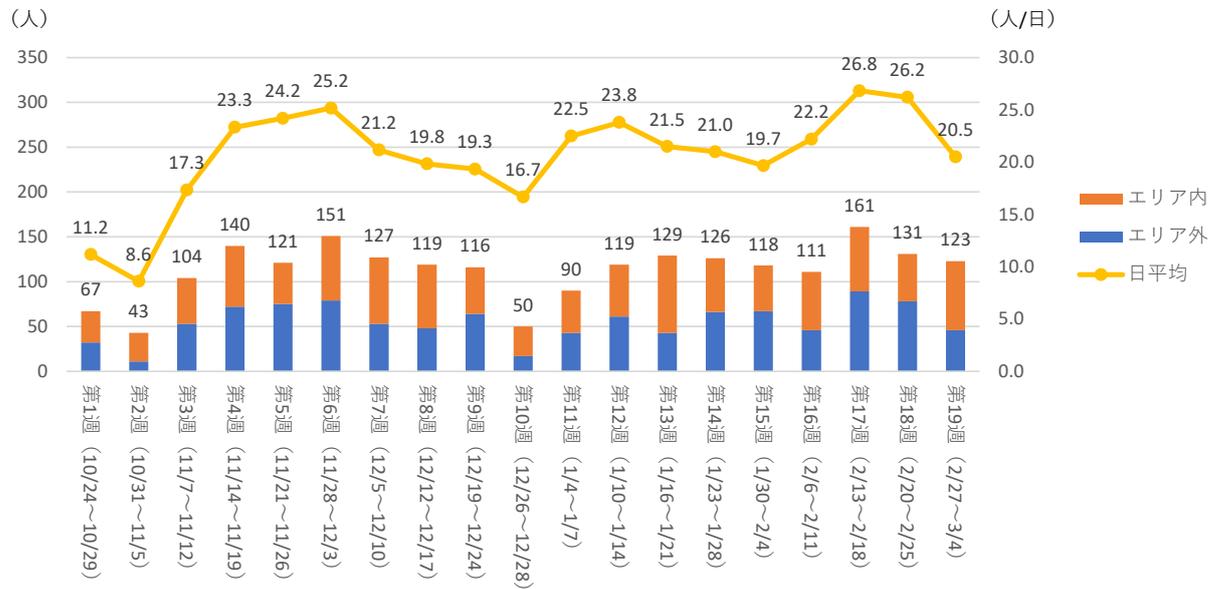
【事務局】

- ・三鷹台、大沢地区でそれぞれ実施しているコミュニティ交通実証運行とルート変更を行った三鷹台・杏林大学病院ルートの現時点での利用実績を報告する。

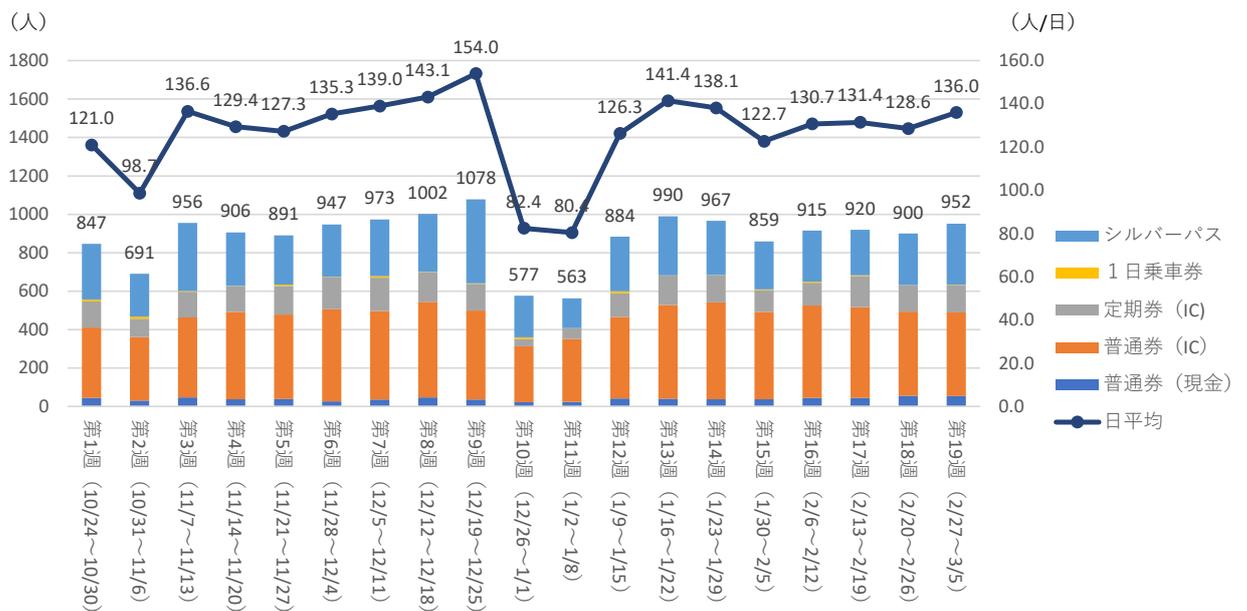
◇小型EVバス（10/24～3/4）◇



◇A I デマンド交通 (10/24~3/4) ◇



◇三鷹台・杏林大学病院ルート (10/24~3/5) ◇



【事務局】

- ・導入目的の達成状況について、利用実績や利用者アンケート等の結果を踏まえて検証を行った。

	【井の頭地区】小型EVバス	【大沢地区】AIデマンド交通
外出促進	免許不所持者や自動車の運転が辛いと思われる層の移動手段となっている	路線バスとの乗り継ぎ利用も見られるが、運用・周知に課題がある
路線バス等との接続	路線バス等との乗り継ぎ利用が見られるが、接続状況に少し課題がある	路線バスとの乗り継ぎ利用も見られるが、運用・周知に課題がある

交通不便地域の解消	バス交通空白不便地域に居住する利用者が多い	
アクセス向上	駅・商業(スーパー)・医療施設等へのアクセス向上が図られている	地区内主要拠点(コミセン等)や商業・医療施設等へのアクセス向上が図られている

・運行内容・システムの妥当性について、利用者・供給者の視点から検証を行った。

	【井の頭地区】小型EVバス	【大沢地区】AIデマンド交通
ルート・経由施設・バス停位置	運行ルート・エリア及び乗降場所は一定の評価が得られている一方で、利便性向上に向けた意見もある	
運行時間・間隔	乗継ダイヤの改善意見が多い	終了時間延長の要望がある
運行曜日	-	日曜日運行の要望がある
車両(サイズ・台数)	定員・乗り降りしやすさに対する不満が大きい	車両の評価は高い
運賃設定	運賃の評価は高い	エリア内の運賃は高評価だが、エリア外の運賃の改善要望がある アプリ予約が多いこともあり、電子決済の希望がある
予約方法	-	予約方法の評価は高く、アプリ予約も浸透している 柔軟な予約・運行システム設計が求められている

・西山会長より上の調査結果に基づいた考察の報告があった(資料4)。

【委員発言】

- ・待ち時間の発生する時間帯や用途や地域といった切り口で分析すると課題が見つかると思う。
- ・運行事業者の担い手不足が予想される中、地域の利便性と効率性の落としどころを見つける必要がある。

【会長発言】

- ・担い手不足により、これまでのようにバスを維持することが難しくなってきている。そういった観点も含めて、今後の交通を考えていく必要がある。

【委員発言(警視庁交通部)】

- ・運転手等の関係者からのヒアリングを通して、交通の安全と円滑の観点からも評価を記載した方が良いのではないかと。

【事務局発言】

- ・記載していないが、実証運行を開始してから、事故や周辺地域からの苦情はなく、安全に運行出来ている。引き続き安全運行を徹底し、実証運行を進めていきたいと考えている。

【委員発言】

- ・運行ルート、経由施設、バス停位置について利用していない人の結果が反映されていない。多くの人を利用することが正しい評価につながるので利用が増える仕組みづくりが必要だと思う。

【委員発言】

- ・デマンド交通について、2台の車両が違うため、車いすの乗り降りのしやすさが違うという話をきいている。

【事務局発言】

- ・事業者によって使用する車両が異なるので、乗り降りの仕方も異なるが、乗務員が適切に対応を行っているので、事故やトラブルは発生していない。

【委員発言（障がい者福祉団体）】

- ・運転士と利用者でのコミュニケーションが大事だと考える。良い関係づくりができれば車種の違いによる乗り降りはカバーできるものとする。

【委員発言】

- ・井のバスについて、車高を下げることでより介助員は乗車しなくなるのか。

【事務局回答】

- ・車高は下がるが、当面は介助員も乗車する。今後については、運行事業者や利用者の意見を聞きながら検討する。

【委員発言】

- ・井のバスは生活道路を運行するため、安全の確保は重要である。運転手へのヒアリングによりヒヤリハット等を共有することが必要だと思う。
- ・新しい交通を導入するにあたっては、システム側からの歩み寄りだけでなく、利

用者側がシステムに歩み寄っていくことも重要だと思う。どのような指標で検証するかは難しいが、今後の評価の中で検証できると良い。

■議事

報告事項 イ 三鷹市交通ネットワーク全体構想研究会の報告について

- ・未来を見据えた提案として三鷹市交通ネットワーク全体構想（検討案）の説明を行った。（資料5）

【委員発言】

- ・5ページの全体コンセプト「子ども、高齢者、障がい者」より「年齢や障がいの有無に関わらず」という表現の方がよい。乗り換えがポイントとなるが、高齢者や障がい者は乗り換えが大変なので検討課題だと考える。

【事務局発言】

- ・検討課題や表現については、引き続き意見交換を行いたい。

【委員発言】

- ・利用促進やコミュニティ交通の横展開について記載があるが、福祉事業者も含めた事業者等当事者側の目線も取り入れ、持続可能なコミュニティ交通の視点も取り入れていくと良い。

【委員発言】

- ・交通の話とまちづくりの話は併せて議論する必要がある。

【委員発言】

- ・事業者視点も重要だが、利用する市民の視点も踏まえながら検討を進めてほしい。

■議事

報告事項 ウ その他

【事務局】

- ・次回の活性化協議会は、令和5年7月頃の開催を予定している。